

学習内容報告書

学校名	内外海小学校
授業者	服部 縁

1. 単元計画

1-1. 単元名

内外海の未来を考える（なれずし作り体験）

1-2. 学年

6年生

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間、国語

1-4. 単元の概要

内外海地区を活性化し、持続可能な内外海地区にするために、自分たちには何ができるのか、調べ学習や体験活動、地域の方へのインタビューなどを通して考えを深める。そして、大人になっても、様々な形でふるさとに貢献しようという気持ちを育てる。

内外海地区に伝統的に伝わる「なれずし」について詳しく知り、作り、伝統を守る人の思いに触れることで、自分たちも伝統を守っていききたいという気持ちをもたせる。

体験活動を中心に、活動内容や自分の考えをまとめ、学習発表会にて発表する。また、内外海地区をPRするためのパンフレットを作成し、観光案内所等においてもらう予定である。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

総合的な学習の時間を中心に行ってきたふるさと学習の集大成として、今自分ができることだけでなく、生涯にわたり地域に貢献したいと思えるよう、今後を見据えた活動を行う。そのためには、地域のことをよく知り、愛着をもつことが必須である。地域を身近に感じられるよう体験活動を多く取り入れる。さらに、地域を誇りに思えるよう、地元の方々にお話を聞く機会を多くとり入れ、地域の宝を見つけ、継承していこうとする態度を養う。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ・コミュニケーションを行う力
- ・多面的・総合的に考える力
- ・つながりを尊重する態度
- ・進んで参加する態度

1-7. 単元の展開（全15時間）

時 数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
2	なれずしについて 調べ学習	昨年のESDカレンダー インターネットのホームページ
5	なれずし作りを体験する① 鯖をさばく・塩漬け ぬかにつける インタビュー へしこまでのまとめ	うちとみKITCHEN活用 協力者：森下佐彦さん（田鳥）
5	なれずし作りを体験する② 塩抜き 麴につける 樽から出す まとめ	うちとみKITCHEN活用 協力者：森下佐彦さん（田鳥）
3	これからの「なれずし」（学習のまとめ） なれずしの伝統を受け継いで行くには？ 今、また、将来において自分たちができること パンフレット作り	内外海地区のパンフレット

3. 今回の活動の自己評価

講師の森下さんの話を聞いて、考えを深めている児童が多くいた。直接会って、関わる機会が増えるごとに、森下さんの思いを自分ごととして考える児童が増えた。

また、海の近くに住んでいても、魚を捌く経験は大人になるまでする機会がほとんどない。今回、鯖を捌いたことで、他の魚を捌く意欲にもつなげたい。

机上では学べない、貴重な体験をすることができた。

4. 今後の課題

・体験と話を同じ時に行ったが、体験で力尽き、話を聞くのに集中できない児童がいた。事前に、ゲストティーチャーとして学校に森下さんをお招きし、作り方や歴史についてなどを聞く時間をとればよかった。

・今回は休校期間があったため、例年より体験する時期が遅くなった。そのため、自分たちでつけたへしこを、他の活動に使うことができなかった。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点